

直接指導と間接指導



直接指導と間接指導

直接指導

教師が児童と直接関わって学習を進める指導形態

- ・ 学習の方法、条件を整える時間とする。
- ・ 自主学習を支える基礎・基本の学習の場とする。
- ・ 学習を確認して認め賞揚し、間接指導の学習時への意欲付けの時間とする。

間接指導

学年別指導において、教師が直接指導をしていない学年の児童が、自主的に学習を進める指導形態

- ・ 自主性を養う絶好の機会とする。
- ・ 児童が課題を解決する時間とする。
- ・ じっくり考える時間とする。
- ・ 小集団学習の時間とする。
- ・ 学習事項のフィードバックと、次の直接指導につながる時間とする。

間接指導の方法と留意点

一人でじっくり考える

- 学習の手引き、ワークシート、参考資料等

小集団で学習する

- ガイド学習、グループ学習、ペア学習等

教育機器等を活用する

- P C、タブレット、テレビ等

- 学習のねらい、内容、方法をしっかり把握させる。
- 各教科の本質を捉えた学習の仕方や、教育機器等の操作技能を身に付けさせる。
- 主体的に学習を進めるための手引きや課題等を準備しておく。
- 課題の内容には、質と量に幅をもたせる。
- 個人やグループで評価ができる準備をしておく。